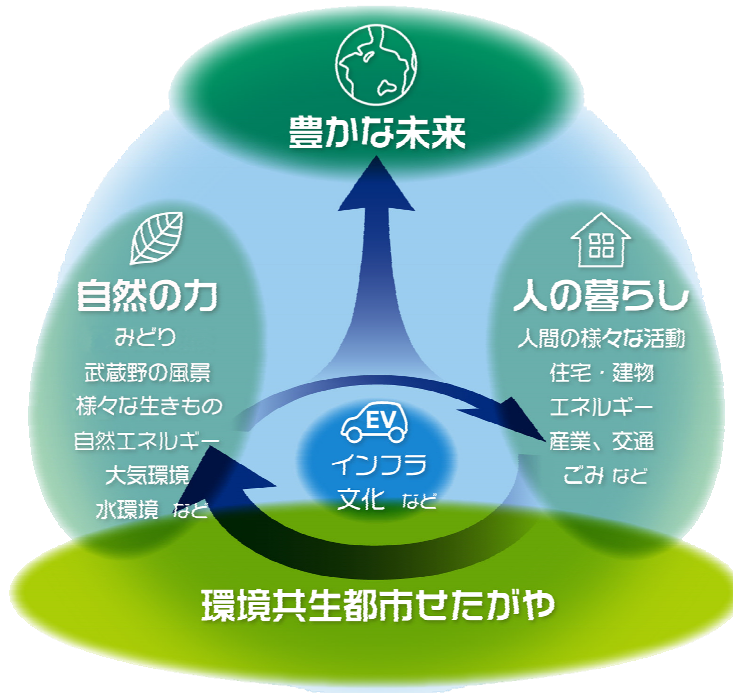


第3章 世田谷区のめざす環境像

3-1 : 世田谷区のめざす環境像

自然の力を活かし、また人の暮らしを自然と調和したものにしていくインフラや文化を介在させながら、自然の力と人の暮らしが相互に支え合い、豊かな未来へとつながっていく社会をめざします。

**自然の力と人の暮らしが豊かな未来をつくる
～環境共生都市せたがや～**



図：世田谷区のめざす環境像

みどりに恵まれた世田谷区は、都内でも最も多くの人暮らし住宅都市として発展してきました。世田谷区民意識調査において、「世田谷区は住みやすいところだと思いますか」という設問に「住みやすい」と回答された方は、2008年度（平成20年度）以降8割を超えています。しかし、宅地化の進展により身近な自然は失われつつあり、地球規模で進行する温暖化も深刻さを増すなど、私たちの生活を取り巻く環境は様々な課題に直面しています。

今日の世田谷区の環境をつくり出したのは、他の誰でもなく、ここ世田谷に暮らし私たち自身です。そして、この環境をより良いものとし、次の世代に引き継いでいくことは、今に生きる私たちの責務です。そのためには、みどりの保全・創出、エネルギーの効率的利用や再生可能エネルギーの活用、環境負荷の少ないライフスタイルの実現、ごみの発生抑制など、多くの課題に取り組まなければなりません。

いずれの取組みも、区民一人ひとり、事業者、行政が自らの課題としてとらえ、それぞれの役割分担の中で積極的に行動し、互いに連携し協働しあって進めなければなりません。

この環境基本計画では、『みどりははじめとする自然が持つ力により、豊かな暮らしを享受するとともに、人の営みにより、自然の保全・再生を進め、「自然の力」と「人の暮らし」が相互に支え合う社会を展望した将来像』を描いています。

そこで、世田谷区のめざす環境像を「自然の力と人の暮らしが豊かな未来をつくる～環境共生都市せたがや～」とします。

第1章

第2章

第3章

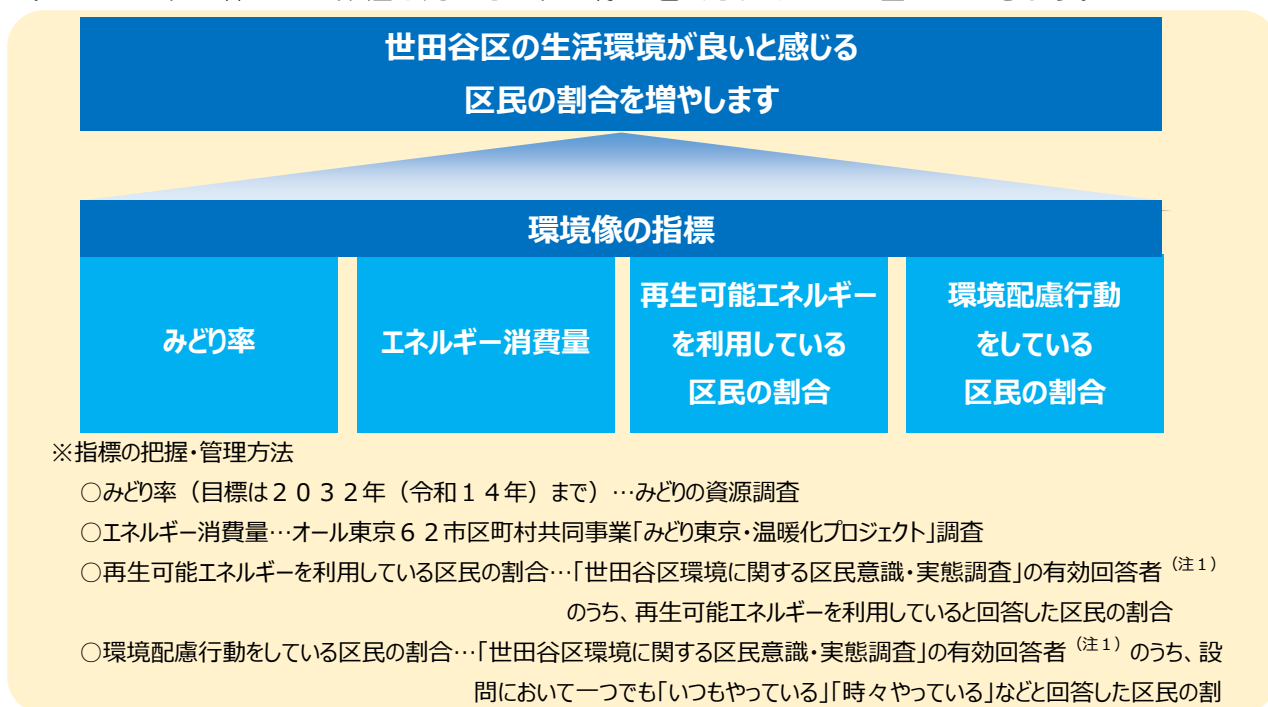
第4章

第5章

第6章

資料編

この世田谷区のめざす環境像の実現度合いを反映する指標として、今回の計画では、前期の計画を引き継ぎ、「みどり率」「エネルギー消費量」「再生可能エネルギーを利用している区民の割合」「環境配慮行動をしている区民の割合」を用いることとします。これらの指標について、令和6年度あるいはその先の年度について目標となる数値を定めました。区民、事業者、そして区の様々な取組みによって、全体として数値を向上させ、目標が達成されるように図っていきます。



	2015年（平成27年）	2024年（令和6年）
みどり率	25.18% （2016年 （平成28年））	29% ^{（注2）} （2027年 （令和9年））
エネルギー消費量 ^{（注3）}	（2013年度 （平成25年度）比） 6.2%削減 （2015年度 （平成27年度））	（2013年度 （平成25年度）比） 17.5%削減 （2024年度 （令和6年度））
再生可能エネルギーを利用している区民の割合	6.5% （2018年度 （平成30年度））	25% （2024年度 （令和6年度））
環境配慮行動をしている区民の割合	99.9% （2018年度 （平成30年度））	100% （2024年度 （令和6年度））

注1：2018年度（平成30年度）に実施した「世田谷区環境に関する区民意識・実態調査」での有効回収率は55.8%。

注2：みどり率の目標は、「世田谷区みどりの基本計画（2018年（平成30年）～2027年（令和9年）」に定める、2027年（令和9年）の目標値29%に近付けていくこととしています。

注3：エネルギー消費量については、前期計画で掲げた目標を達成したため、「世田谷区地球温暖化対策地域推進計画」における目標値としています。

図：環境像の指標

3-2 : めざす環境像の実現のための取組み

環境問題は、社会経済活動と密接に関係していることから、世田谷区のめざす環境像の実現のためには、「環境・経済・社会」を統合的にとらえて取り組んでいくことが重要であり、様々な関係者とのパートナーシップの構築が不可欠です。

今後の取組みの強化の鍵となるのは、SDGsの考え方の活用であり、世田谷区のめざす環境像の実現に向けた5つの基本目標ごとにSDGsのゴールやターゲットを関連付け、区民、事業者、区それぞれの行動や施策が様々な分野に関連していることを明確にして取り組んでいきます。

「環境・経済・社会」の統合的な向上を基本的な考え方とするSDGsを取り入れ、SDGsを様々な関係者の「共通言語」とすることで、環境分野としての個々の取組みに限らず、福祉、教育、防災、まちづくりなど、分野横断的な取組みを促進し、社会の中にある多岐にわたる諸課題の同時解決につなげていきます。特に、「誰一人取り残さない」というSDGsの考え方や実践を通して、これまで培ってきたパートナーシップをより強化し、区民、事業者との協働によるリーディングプロジェクトを推進します。これまでに例のない災害や、急速に進む経済や社会状況の変化にも対応できるよう地域の力を高めていくことで、「自然の力と人の暮らしが豊かな未来をつくる～環境共生都市せたがや～」の実現をめざします。

世田谷区のめざす環境像の実現により、環境をより良いものとし、豊かな未来へつなげるとともに、気候変動や生物多様性など、地球規模の課題の解決にも貢献していきます。

なお、環境分野による取組みが結果として複数の便益に資することにつながるものとして、以下のような例があります。

○住宅の断熱性能の向上によるエネルギー消費量の削減

⇒エネルギーの効率的な利用による温室効果ガス排出量の削減に資することはもちろん、快適に暮らせる住環境を提供することで、高齢者等の健康を守る（ヒートショックの防止など）ことになり、結果として福祉分野と連携した分野横断的な取組みによるマルチベネフィット*を生み出します。

【関連するSDGsの目標】



○みどりの持つ多面的機能

⇒各種生きものに対する快適な空間の提供、まちの良好な景観の形成、気温の上昇の抑制などの様々な効果を発揮すると同時に、雨水浸透などの豪雨対策、地震時における火災の延焼の遅延・防止等をはじめとする災害対策にも結果として貢献することとなります。（グリーンインフラ等）

【関連するSDGsの目標】



○食品ロスの削減

⇒食品ロスを含むごみの減量化は、生産・廃棄に係る資源・エネルギーの削減につながります。食品ロスの削減に向けた、防災備蓄食料の活用や賞味期限が間近の製品の福祉施設等への寄付は、資源の有効利用に資するとともに、資源の大切さを学ぶ教育につながります。世田谷区ではフードドライブを実施しており、家庭で余っている食品等を持ち寄り、集められた食品等は、社会福祉協議会を通じて、子ども食堂や区内の福祉施設等に寄付されます。また、ICT*等の技術を活用した商品の需要予測は、製造事業者等が適正な量を生産することで、廃棄や在庫の削減による経営上の利益を生み出します。

【関連するSDGsの目標】





- 第1章
- 第2章
- 第3章
- 第4章
- 第5章
- 第6章
- 資料編

図：「環境・社会・経済」とSDGsの関係

出典：平成29年度版環境・循環型社会・生物多様性白書

【めざす環境像と各章のつながり】

SDGs (Sustainable Development Goals)

2030年(令和12年)に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」

SDGsへの貢献

第3章 世田谷区のめざす環境像 (P41~47)

自然の力と人の暮らしが豊かな未来をつくる～環境共生都市せたがや～

世田谷区の生活環境が良いと感じる区民の割合を増やします

環境像の指標

みどり率

エネルギー消費量

再生可能エネルギー
を利用している区民
の割合^(注)

環境配慮行動を
している区民の割合

区民、事業者、行政の行動による環境像の実現

第4章 計画の基本理念・目標及び取組み (P48~109)

5つの基本目標

基本目標1 みどりの豊かな潤いのあるまちをつくります

基本目標2 脱炭素社会に役立つエネルギーの利用拡大と創出をめざします

基本目標3 環境負荷を抑えたライフスタイルを確立します

基本目標4 地球温暖化に対応し安心して暮らせる地域社会をつくります

基本目標5 快適で暮らしやすい生活環境を確保します

各主体の環境に配慮した取組み

区民・事業者の取組み

区の取組み

環境行動指針

協働

64の施策と67の環境・取組みの指標

注：「世田谷区環境に関する区民意識・実態調査」の有効回答者のうち、再生可能エネルギーを利用していると回答した区民の割合

17の目標

169のターゲット
(具体目標)



他分野からの恩恵

SDGsにつながる実践行動

区民、事業者、行政
の協働による
環境像の実現

区民、事業者、行政
の協働による取組み

第5章 区民・事業者との協働リーディングプロジェクト（P110～123）

区のめざす環境像の実現に向けて、区民、事業者、区などの主体が連携・協働して、ともに学び、ともに行動する取組みを「協働リーディングプロジェクト」として設定

基本目標1 みどりの豊かな潤いのあるまちをつくります

- せたがやカレープロジェクト
- ちょこっと空間づくりプロジェクト

基本目標2 脱炭素社会に役立つエネルギーの利用拡大と創出をめざします

- 全ての家をもっとエコに！

基本目標3 環境負荷を抑えたライフスタイルを確立します

- 省エネポイントアクション
- エコな消費行動

基本目標4 地球温暖化に対応し安心して暮らせる地域社会をつくります

- 雨水浸透・利用のすすめ

基本目標5 快適で暮らしやすい生活環境を確保します

- みんなのまちのグリーン大作戦

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

資料編